

ゆすまいる

“ 弁護士による法律講演会 ”

“ 急斜面を工事する
岩井建設 吉門さん ”



日々市民のために
頑張っています



季刊誌

夏号

2021

14 ページを見てね

もくじ

Number. 40

- 1 令和 2 年度事業報告・決算報告
- 2～3 地域のとりくみ紹介
- 4～5 事業紹介
- 6 地域共生社会（第2回）
- 7～10 複合福祉施設 YURURI ゆすはら
- 11 団体紹介
- 12 輝く梶原人！み～つけたっ！
- 13 地域福祉係職員紹介
- 14 地域福祉活動推進事業
法律講演会

掲示板 福祉サービス
にこにこ喫茶より
防災

“ 越知面区 ピザ ”



3 ページを見てね

“ 伊藤辰子さん宅の
サボテンの花が咲いていました ”



梶原町社協広報誌

令和 2 年度 事業報告・決算報告

事業報告

● 法人運営事業

理事会・評議員会の開催

● 住民参加の福祉活動の推進

つむぎあい(地域支えあい活動)

リユースゆすはら(休眠資源活用事業)

お元気発信(高齢者の自発型安否確認)

● 地域福祉の推進

安心生活基盤構築事業

地域福祉コーディネーター活動

○ 地域活動

(困り事の早期発見と課題解決)

○ 集いの場への参加

(地域力の維持と継続への後方支援)

福祉教育

○ 梶原学園高齢者疑似体験

○ 梶原高校福祉の仕事説明会・相談会

赤い羽根共同募金助成事業

○ 地域活動推進事業

○ 無料法律相談

● 相談援助活動

日常生活自立支援事業

生活困窮者自立相談支援事業

法人成年後見事業

生活福祉資金貸付事業

小口資金貸付事業

● 各種団体の活動支援 団体事務局

梶原町老人クラブ連合会

梶原町身体障害者連盟

梶原町共同募金委員会

● 施設運営 複合福祉施設 YURURI ゆすはら

デイサービスゆるり

○ 食事・入浴・レクリエーション活動

○ 健康チェック・機能訓練

ケアハウスゆるり

○ 食事・入浴・レクリエーション活動

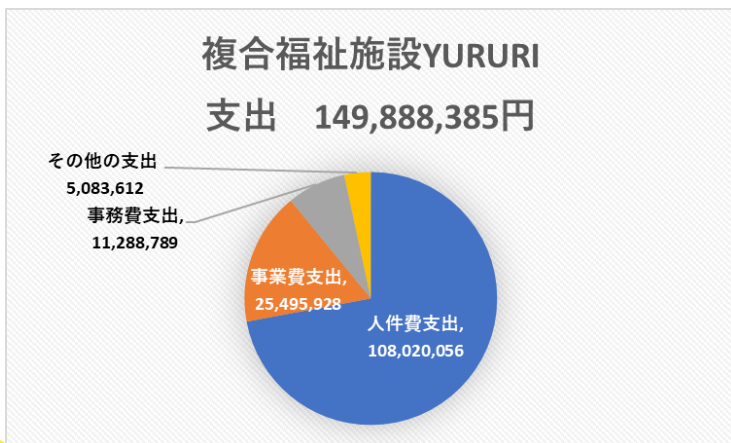
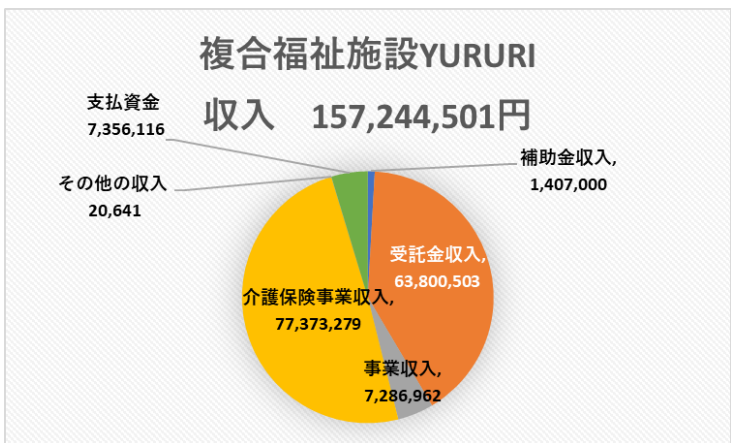
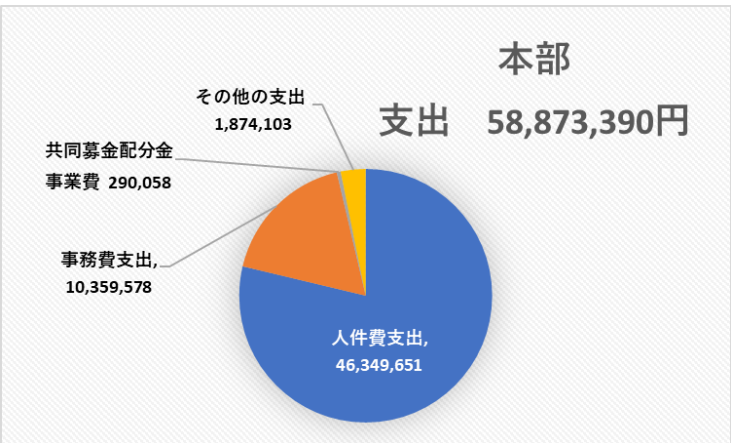
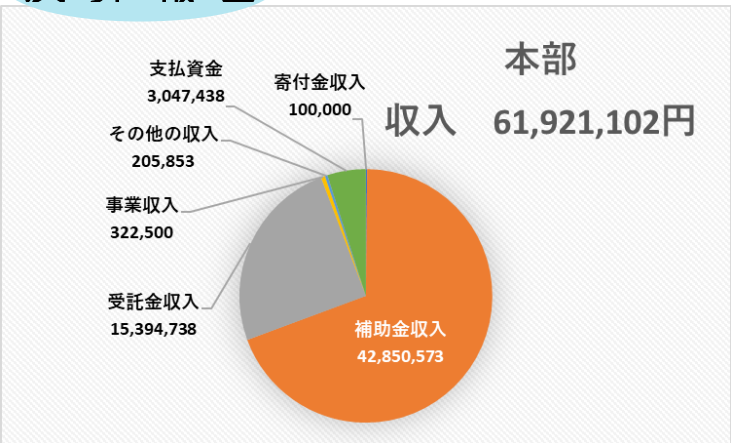
○ 健康管理・機能訓練

生活支援ハウス

○ 生活援助

フィットネス・町民交流室の運営管理

決算報告



地域のトリクミの紹介

東 区



4/8 (木) 東区サロン『えくぼ』開所しました～！

地域の方から「宅老所を復活させたい」という声があり、昨年度は協力者に集まっていただき宅老所再開に向けて何度も話し合いを重ねてきました。4/8 (木) に開所することができました。



初回参加者は 24 名でした。
(利用者 15 名、運営委員 7 名、社協 2 名)
参加者からは「楽しかった。」「来月も楽しみ!」といった声がありました。

開所式では、「えくぼ」の名前を考えた大崎辰恵さんに景品贈呈をしました。

「えくぼ」の名前の由来は??

大崎さん:「思いつきよ～。えくぼと聞いて怒る人おらんしね。にこにこ喫茶もあるので、可愛いもので関連して考えました。」



昼食は『雲の上食堂』
今日のメニューはトンカツ! 「おいしい!」

～ みんなからの声 ～

- * 「えくぼ」という名前良いね
- * 利用者が先生 (切り絵、瓦絵など)
- * やりたいこと、やれることを選べるようにしたいねえ
- * 全員ができること、参加できることがいいねえ
- * 「楽しかったね、また来月ね!」と思えるように 等



お話やお昼寝、体操やボッチャなど好きなことを楽しみました～!

5月からは、

利用者のみなさんの「やってみたい」という意見から、「おじゃみづくり」や「お菓子の袋づくり」、「替え歌を作詞」などをしながら楽しく過ごしています♪



毎月第2木曜日 9時30分～15時です! みんなで集まって楽しみましょう～!

初瀬区



初瀬区老人クラブ 元気に活動中～



初瀬区老人クラブでは、地域の皆さんの声かけや広報誌などで老人クラブの活動を見て興味を持った方が入会し、会員増につながりました。初瀬区には単位老人クラブが2つあり、特に健老会（初瀬西）では、昨年度若手高齢者が10名加入し、「先輩を応援せんといかん！」と協力的に動いてくれるため会長の負担軽減にもつながりました。みんなで支え合いながら元気に楽しく活動ができています。



老人クラブの
オレンジベストを着てハイチーズ★



狙いを
定めて～



初瀬いきいきにて
急遽ポッチャ大会開催！！

表彰式

楽しむことが続ける秘訣 by チームシルク ～個性はバラバラ、でもみんなで一つ～

越知面区



素敵な笑顔の写真を掲載したく、マスクを外していただきました。

チームシルクって??
平成 28 年 3 月発足。越知面集落活動センターを拠点に、『越知面を元気にしたい』との思いのもと、高齢者の生きがい、環境保全、地域でお金を生み出す仕組みづくりなど、地域素材と産業の融合(6次産業化)も積極的に取り組みながら、地域のエンターテイナーとしても大活躍の皆さんです。

パンは会話のきっかけ



昨年の 4 月から焼きたてパン・寿司・惣菜などの訪問販売と集落活動センターに配置された移動図書館の本を訪問先で紹介する活動を越知面区内で行っています。見守りや体調確認も兼ねた活動で、地域の方は「頑張っている人がいると嬉しい」「訪問がないと寂しいので来てほしいとお願いします」と話す方もいます。地域住民だからこそ話せる事もあったり、一緒に歌を歌ったり、困りごとの解決をすることもあるそうです。大切にしているのは、越知面が元気になること。地域の声を聞くこと。『パンはきっかけの1つ』だそう。新しい仕掛けや商品開発など挑戦を続け、エネルギーに活動されています。



活動が続く秘訣を聞くと「何でも言い合える仲間と、自分たちが楽しんで活動をする事。」「色んなことを家族よりも知っちゃうね。変化があれば気がつくし、痩せたも太ったも、相談もとことん聞く。」と仲の良さは抜群。まかないの美味しさと、会って話をする事が楽しさの原点になる。

取材させて頂いたこの日も、地域の情報を共有したり、地域で使えそうな野菜について話したり、これからの学びや、展望を楽しそうに話されていました。しかし作業が始まるとそれぞれの役割を黙々とこなし、手際よくピザが出来上がっていききました。そのチームワークの良さと手早さに見惚れてしまいました。



ひとりで悩まないで！

「生活の困りごと」



など

社会福祉協議会では、生活上のお悩み等をご相談いただき、解決できるように様々な関係機関と連携して一緒に考えるお手伝いをしています。

あなたの身近で悩んでいる方についてのご相談でもかまいません。まずはご連絡ください。

生活困窮者自立相談支援事業

担当：玉川・山口

栲原高校 3年生

～地域への恩返し～



栲原高校 3 年生 7 名が総合的な学習の時間『YELL プロジェクト』の中で社協へ来訪されました。



栲原町の高齢者の人数や集いの場、高齢者の困りごとを知り、自分たち高校生が出来ることは何かを一緒に考えました。出来そうな提案の中から、まずは高齢者とふれあい、声を聴くことにしました。

後日、老人クラブ主催のボッチャ大会へ参加し、交流するとともに、コロナ禍での生活変化や楽しみについて聞きました。今後も【高齢者を元気にしたい】との想いを形にするべく、取り組んでいくそうです。



授業以外での関わりについても可能な範囲で活動参加をお願いし、

「お助けマン」

(みんなでできる無償ボランティア)への登録もして頂きました。

資金不足のため進学にお悩みの方へ

生活福祉資金貸付制度（教育支援資金）

教育支援資金は、高校や大学、専門学校などの入学に必要な費用を貸し出し、就学や将来の就労を支援する制度です。貸付の条件は、他制度優先となっております。他の公的資金貸付制度が利用可能な場合は、そちらを優先していただきます。

1. 就学支度費

高校や大学の入学にあたり、学校に納める入学金や制服等の費用を支援します。



※貸付できる額：50万円以内

措置期間：卒業6ヶ月以内

償還期間：措置期間経過後20年以内

2. 教育支援費

高校や大学等に支払う授業料や教科書代、実習費用などを支援します。



※貸付できる額

〈高等学校〉 月額35,000円以内

〈高等専門学校〉 月額60,000円以内

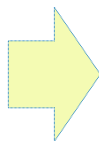
〈短期大学〉 月額60,000円以内

〈大学〉 月額65,000円以内

その他奨学金、介護福祉士・社会福祉士修学資金など



将来は福祉に関わる仕事がしたいな～



給付型奨学金や授業料等減免を受けられる場合があります。また介護福祉士・社会福祉士修学資金等貸付は、指定養成施設に在学し、介護福祉士又は社会福祉士を目指す方に貸付する事業です。これら支援制度は、返済免除や条件により返済が免除になるものがあります。

★ 審査に時間がかかる場合がありますので、お早めにご相談下さい。 担当：山田

日常生活自立支援事業

高齢の方や障害をお持ちの方などが、福祉サービスの利用や金銭管理など、日常生活に必要なことについて、自分ひとりで判断することが難しくお困りの場合に、安心して日常生活が送られるように社会福祉協議会がお手伝いします。

福祉サービスってどうしたら使えるの？利用したいけど複雑な手続きは苦手じゃ…



福祉サービスの利用援助

ご自身にあったサービスを一緒に考えます。

公共料金の支払いなどを忘れがち・・・
計画的にお金の支払いができるか不安・・・



日常的金銭管理サービス

預貯金のおし入れや公共料金の支払いなど
日常のお金のやり取りをお手伝いします。

通帳やはんこなど、
どこにしまったか忘れて
しまう・・・



書類などの保管サービス

定期預金証書や実印などの
重要な書類を保管します。

誰もが役割を持てる



地域共生社会

『地域共生社会』とは・・・高齢者・障害者・こどもなど地域の全ての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創り、高め合う社会のこと。今回のテーマは『認知症』です。さまざまな支え合いのありかたを一緒に考えていきましょう。

「2025年には、日本の人口の5人に一人は認知症になる。」といわれており、決して他人事ではない時代がやってきます。認知症は病気です。はずかしいことはありません。認知症のことを正しく理解し、地域みんなで見守り、認知症を『我がこと』として支え合える雰囲気づくりが大切だと考えます。

梶原町では、認知症介護の経験者が『げらげら家族会（会員12名）』という団体をつくり、会員の相互ケアと認知症の理解・啓発活動などをおして、支え合いの取り組みを実践しています。

認知症介護に関する悩み事を相談したり共有してもらうことで安心して生活できるように、また、まさに今お悩みをかかえて生活している方々への手助けになればという思いから、世話人の掛橋さんにお話をうかがい、地域の皆様への言葉をいただきました。

支えさせて！

認知症の人を介護している家族の方、
困っていませんか？
聞いてもらいたいこと、ありませんか？



わたしたち家族会のメンバー皆がそんな思いを経験し、仲間に聞いてもらうことで救われてきました。介護の経験をもとに話を聴き、助言できることもあるかと思います。

この病気は、最初に症状として現れるのが少しですのわかりにくく、気づいた時には病気が進行しています。早期発見できれば、進行をゆるやかにすることも可能だと言われています。この病気は誰でもなります。地域住民がお互いに支え合って、認知症の方も介護をしている方も、この梶原で安心して暮らすことができればと考えます。

わたしたち家族会では、全体（集いの場など）でも1対1（訪問）でも、希望に合わせて対応（お話をお聴きすること）ができます。

どうか一人で悩まないで、声をかけてください。ご連絡おまちしています。

【連絡先】げらげら家族会 世話人 掛橋培子 ☎65-0312 まで。

社協は、ひきつづき地域共生社会の考え方やつながり、支え合いのありかたについて皆さまと共に学び考え、共に理解を深めていきます。
ご意見などは、社協職員にお声かけください。

→連絡先（☎ 65-1235）まで。



認知症の予防法や、さまざまな症状に対する対応の「うまくいく」を公開するサイトです。情報収集等にお役立てください。



そうじ

施設内のそうじは全て、スタッフで分担して行っており、外部業者には依頼しておりません。感染蔓延時でも通常の業務として、外部状況に左右されずに環境整備を行うことができます。

職員間での感染の伝播も危惧されます。手洗いや手指消毒は無論の事、職員が触れる OA 機器（PC や電話機・PHS 他）なども定期的に清掃・消毒を行っています。



デイサービス

トイレは、ご利用者様一人使用ごとに便座のアルコール消毒を行っています。

進んで消毒して下さるご利用者様もあり、常に清潔な状態でご利用いただくことができます。



ゆるいの感染対策

全国的にコロナワクチン接種
れ、町内でも計画的に進められ
コロナワクチンは「感染防止効
効果」が期待されていますが、ワ
き続き基本的な対策は継続し
今回は複合福祉施設ゆるり
様にご紹介させていただきます。

が高齢者から順次開始さ
ています。
果」ではなく「発症予防
クチン接種を終えても、引
ていく必要があります。
の感染対策の一部を皆



ご利用に際しては、利用者名の明記（感染発生時の濃厚接触者
追跡用）・マスクの着用・手指消毒、使用後は機器のアルコール
消毒のご協力をよろしくお願い致します。また地域の感染状況に
よっては随時閉館することもあります。ご了承ください。

デイサービス



昼食後の歯磨きの際、従来は二
人同時に行っていました。
現在は飛沫感染防止の為、ご利用
者様にもご協力いただき、お互
い声をかけながら、お一人ずつ順
番に歯磨きをしていただいています。

ごはん



マスクの外れる食事時間
は、特に飛沫感染対策に
重点を置いています。

ケアハウス 支援ハウス

食事処ではパーテーションを設置し、対面での飛沫防止対策をしていま
す。また、食事前の手洗い・手指消毒は徹底して行っています。

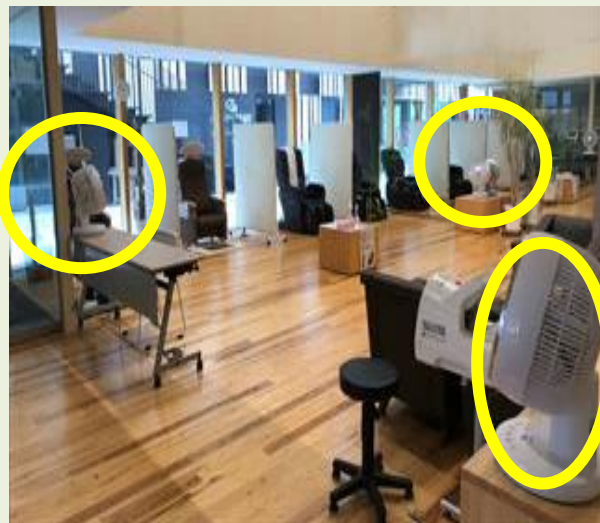


通常、ケアハウス・支援ハウスのご利用者様は
2階の食堂と一緒に食事をされますが、万が一
集団感染が発生した際に少しでもクラスター
の規模を縮小できるよう、感染対策強化中は
食事場所を分離させていただいております。
毎食終了ごとに、机、椅子、パーテーションをア
ルコールクロスで拭き上げ、床も清掃を行ってい
ます。



フィットネス

長い間ご利用を控えて頂いていたフィットネス
も、機器間の距離を取り衝立を設置、サーキュ
レーターを 3 台配置して、開館の準備を行って
います。当面の間、リラクゼーションを中心とした
機器のみを配置させていただきます。



ご利用に際しては、利用者名の明記（感染発生時の濃厚接触者
追跡用）・マスクの着用・手指消毒、使用後は機器のアルコール
消毒のご協力をよろしくお願い致します。また地域の感染状況に
よっては随時閉館することもあります。ご了承ください。

外気温や湿度、また利用者様や職員個々で
体感温度も違います。高齢になると皮膚温感
が鈍くなるため、ご自身での体温調整が難しく
低体温や熱中症を起こしやすくなります。

換気



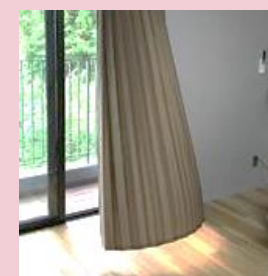
そのため、冬場でも夏場でも特に換気に配慮する必要があり、より効
果的な気流を考え、ご利用者様と職員にとって快適な環境を整える
ことが求められます。

デイサービス



左記の時間で定期的な換
気を行っています。当初に
換気の必要性をご利用者
様に説明させていただき、
現在では、すっかり定着し
ています。

ケアハウス



概ね 8 時・10 時・12
時・15 時・17 時に居室
と食堂で、ご利用者様
が不在時に交互に換
気を行っています。

感染対策と熱中症

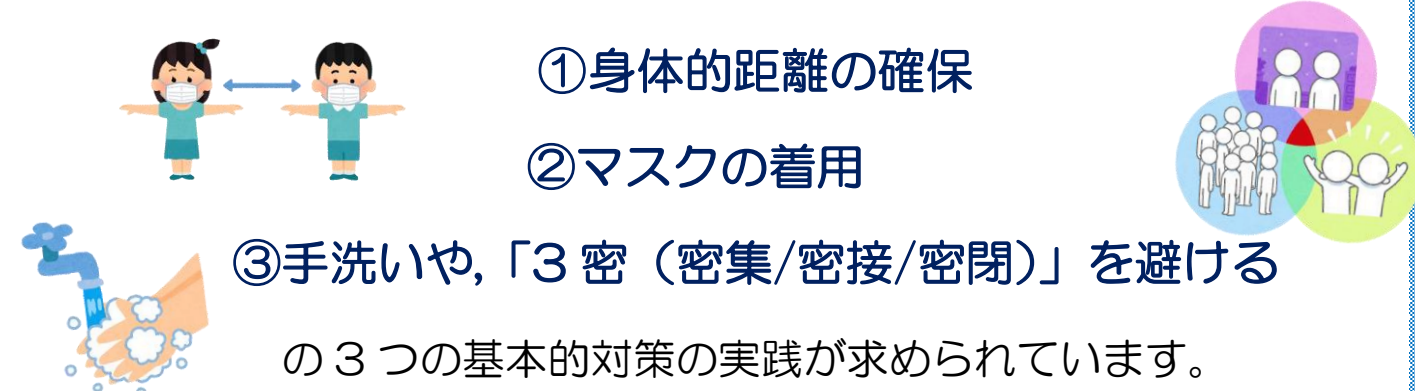
熱中症を防ぎつつ

みなさん、こんにちは。YURURI では看護師も仕事をさせて頂いています。

昨年から続くコロナ禍により、この夏もマスクの着用や部屋の換気といった感染対策が必要とされています。しかし、暑さも増す中、「マスクなんかやってられん!!」と思われる方も多いことでしょう。

今回は看護師の私達から、十分な感染予防を行いながら、熱中症にも注意を払うにはどうすればよいのか、感染対策と熱中症についてポイントをお知らせしたいと思います。

新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』とは



でも、マスクつけると、暑い息苦しいし・・・
そうだ!!鼻出しとけば楽じゃない!

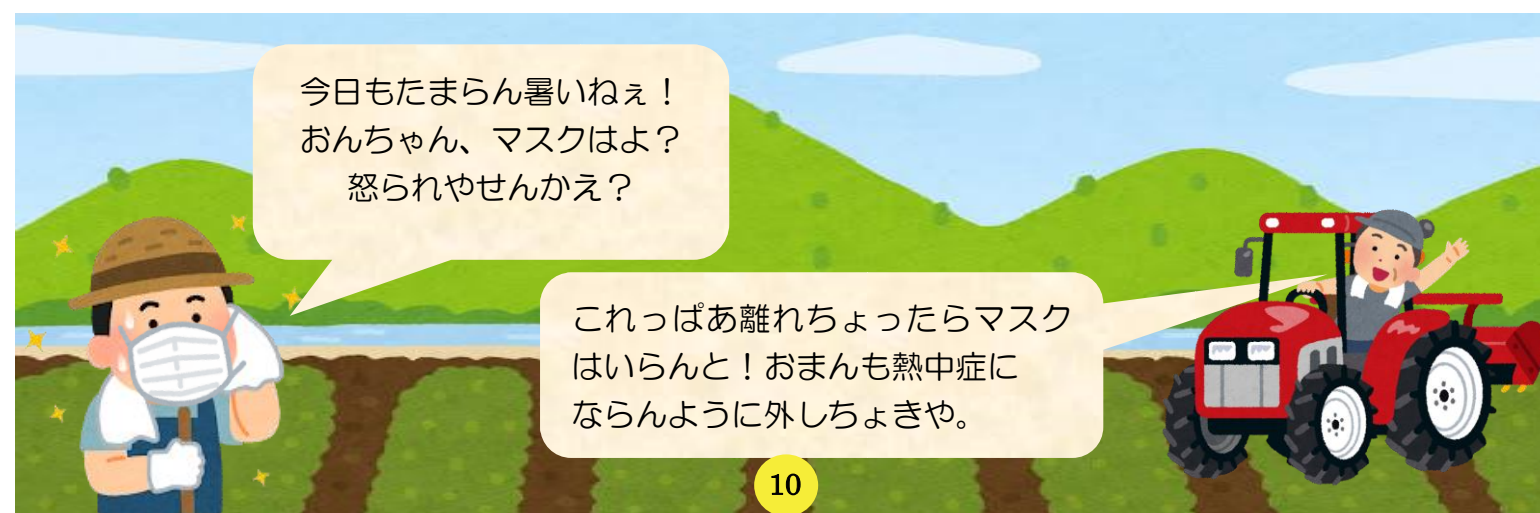


エアコンつけたら、換気してるのと一緒にじゃない? 窓は開けんでもよくない?

マスクの着用について

マスクは飛沫の拡散予防に有効ですが、着用していない場合と比べると心拍数や呼吸数、体感温度などが上昇し、身体に負担がかかることがあります。高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。

熱中症を防ぐために、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合はマスクを外すようにしましょう!!



「新しい生活様式」を両立するためには!!

マスクは正しくつけましょう

マスクは飛沫の拡散予防に有効ですが、正しく着用していないと効果がありません。

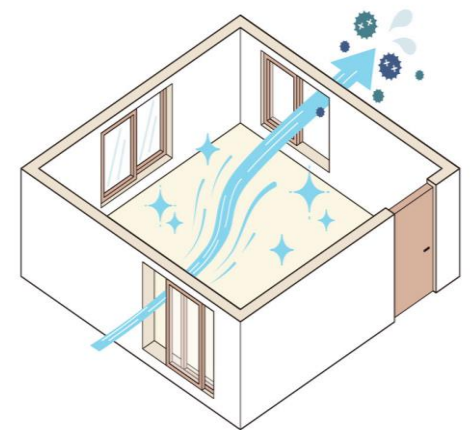


エアコンの使用について

一般的な家庭用エアコンは空気を循環させるだけで換気を行っていません。「窓を開けて換気しながらエアコンをつける」がwith コロナ時代に必要な家庭での対策の一つです。窓を開けているとどうしても冷房効率が下がるので**普段よりは低めの過ごしやすい設定温度**を見つけましょう。

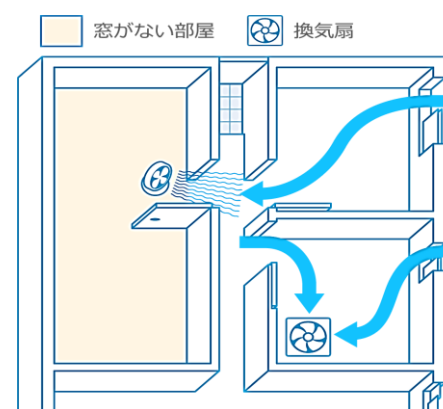
【換気は対角線を意識】

窓を開けて換気をする場合、**1 方向の窓を開けるのではなく 2 方向開けるようにします**。そしてその2つの窓の配置は対角線上にあると効率よく換気することができます。皆さんが普段から使っているお風呂場の換気扇やキッチンの換気扇、それらでももちろん換気はできますが、1 方向のみの換気のため、2 方向の対角線換気より効率は落ちます。



【空気の流れを作って換気】

対角線上に窓を開けた後、さらに換気効率を上げたい場合は、そこに空気の流れをつくるようにします。**空気を入れる方(給気口)を狭くし、空気を外に出す方(排気口)を広くとる**ことで空気の流れがでやすくなり、短時間で換気することができます。**換気をすることができないような密閉された部屋では、扇風機を部屋の外に向けて空気を送り出すように換気します。**



【換気頻度はこまめに】

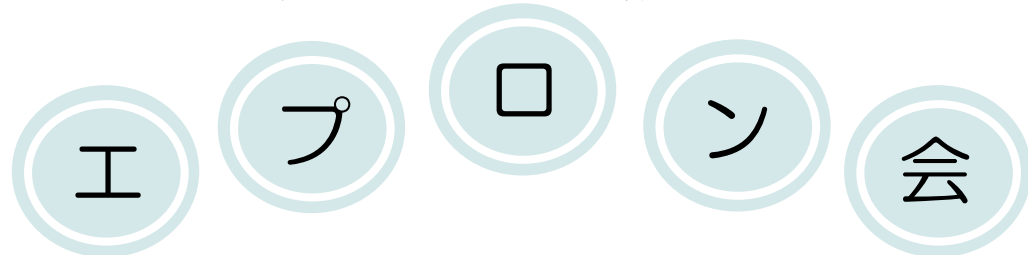
2 時間に 5~10 分ほどの換気を目安にするのがよいとされています。

【エアコンのお手入れも定期的】

家庭用のエアコンであれば、前面のパネルを外すと薄いフィルターが2 ほど装着されているのが分かります。室内の空気を吸い込む時に、このフィルターでエアコン内部にハウスダストや菌が入るのを防ぎ、結果的にエアコンから出てくる空気をキレイに保っています。この効果を維持するために、定期的にエアコンフィルターについた汚れを掃除機などで吸い取ります。

『新型コロナウイルスの家庭内対策「エアコンをつけながら換気する」は正しい?』<https://www.sanikleen.co.jp/kajiraku> 参照

食生活改善推進協議会



梶原町で活躍する
楽しさや大切さ、活動に
取り組む人たちの想いを
ご紹介します。

現在 43 名の会員で
地域の「食」を支える
活動をしています。

野菜 1 皿運動！！
1 日 350 g 野菜を摂ろう！



～令和 3 年度研修会のようす～



会長
戸梶 庄美 さん



一緒に活動してい
ただける方を随時
募集しています！

フレイル（加齢により心身が老い
衰えた状態）予防や口腔ケアに
取り組んでいます。

また男性メインの料理教室も
開催しています！気軽に参加
してくださいね！



レシピ紹介

エプロン会の研修で調理したメニューのレシピを一部ご紹介します！

写真左上から：ほうれん草の春雨スープ、サーモンの
チーズサンドフライ、ごはん

写真左下から：ヨーグルトムース、キャベツの洋風マリネ



★サーモンのチーズサンドフライ

＜材料＞

生鮭（80g） 6切れ

【A】塩 2g

【A】こしょう 少々

とろけるスライスチーズ 2枚

パン粉 1カップ

小麦粉 大さじ2

卵 1個

【B】マヨネーズ 大さじ3

【B】無糖ヨーグルト 大さじ2

【B】レモン汁 小さじ1

【B】玉ねぎ 30g

レタスやベビーリーフ

ミニトマト 12個

レモン 適宜

＜作り方＞

① タルタルソースを作る。

玉ねぎはみじん切りにして、【B】の調味料と混ぜる。

② 鮭は皮を除き半分に切り、切り離さないように注意し

横から切り込みを入れる。

塩・こしょうをふる。

③ スライスチーズは1枚を3等分にする。

④ 鮭の切れ目に②のチーズをはさみ込み、手で軽く

おさえてなじませる。

⑤ ③の表面をキッチンペーパーで軽く押さえて水けを

取り、両面に小麦粉を茶こしで薄くつける。

溶き卵とパン粉をつける。

⑦ フライパンに油をひき、両面をこんがりするまで

揚げ焼きにする。

⑧ お皿にレタスとミニトマト、レモンを添えて

タルタルソースをかけて完成。

輝く椿原人！み～つけたっ〇〇！

in 四万川

若い時は、そりゃー！！飲んだ飲んだ（笑）
 ・・ん～ いまかよ！今も毎晩、飲みゆよ（笑）
 おちょこに 1 杯やけんどね。焼酎をクイッと。
 それが、また美味しい！今まで、二人であちこち旅行にも
 行った。苦労もかけたけど、女房には
 感謝しちゅう！それに料理も美味しいよ（笑顔）

働かざるもの食うべからずの精神

若い時はそりゃあ苦労したちや！小学校から帰
 ったら家畜の世話をしよった。小 4 頃から父親の
 切った木を背負って山から降りて来ないいかざっ
 たし・・

朝から晩まで仕事のしずめやった。今思うたらよ
 うやったと思うがじゃけんどね。

今は女房と二人でコトコトとできることばあし
 かできなったけんどね。まあ仲良くくらすたらいい
 なと思ひゆうところよ（照）

息子がお風呂を直してくれて、暖房もついちゅう
 がよ。それがほんとに嬉しかった。



やまぐちしげとし

山口重壽さん(90)

やまぐちとみえ

山口富恵さん(85)

昭和 6 年生まれ 昭和 11 年生まれ

二人とも文丸出身で結婚して 65 年。息子さん
 2 人娘さん 1 人の 3 人を育てあげ夫婦で力を
 合わせて頑張ってきた。今の楽しみは二人
 で出かけることです。

“さっきも聞いた” はゆわれん

平成 29 年の 11 月に大きな病気をして
 1 年間くらい入院しちよった。お父さんの
 ことはその間もずっと心配やったけんど、
 おらんならおらんでなんとかなるもんや
 ね。（笑）ちゃんにご飯も作って食べよった
 んやと。おかげで治療に専念できたので感
 謝しちゅう。退院して、地域の方から「あ
 りがたさがわかったっていいよったで！」
 と聞き本人からは言われたことはないけ
 んど、ちょっと嬉しかった。

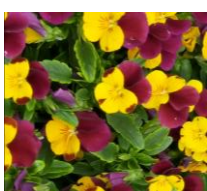
近頃は、お互い年を取って認知症じゃろ
 うかね～。おんなじこと何回も話したり
 して「さっきも聞いた。」とついついゆうて
 しまい変な空気になる時がある。（笑）まあ
 時々は喧嘩もするけど喧嘩する相手がお
 るばあ幸せやと思わないかんねえ。



お父さん！！
 写真撮ると・・・

富恵さんはお花が大好き！！

庭にお花がたくさんありました



令和3年度
地域福祉係の
活動

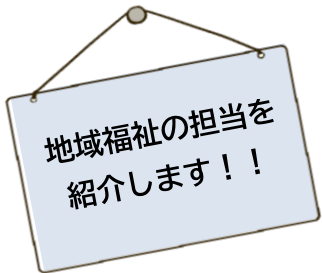
ちょっと空いた時間
日頃の趣味や特技などを
活かして無償で
活動していただく取り組み
『お助けマン』
を募集します



引きつづき

『防災・減災』

に注力した活動を展開します！



地域福祉係長
山田 美奈子
(やまだみなこ)



担当事業
赤い羽根共同募金、
各地区サポートなど

四万川区・西区

玉川 富美恵
(たまがわふみえ)



担当事業
生活困窮者自立支援相談事業など

矢野 裕子
(やのゆうこ)



4月より入職

NEW

越知面区・松原区

山口 あゆみ
(やまぐちあゆみ)



担当事業
福祉教育
生活困窮者自立支援相談事業(サブ)

東区・初瀬区

西村 悠
(にしむらはるか)



担当事業
地域活動推進事業
各種団体など

川田 沙月
(かわださつき)



担当事業
老人クラブ連合会
身体障害者連盟など

前田 京子
(まえだきょうこ)



育休

地域活動推進事業



みなさんの地域で活用してみませんか？
みなさんの「**やってみたい！**」を応援したい

地域みんなで
使えるものを
購入したい！



楽しいこと
やりたい

地域活動推進事業とは？

この事業は赤い羽根共同募金の配分金を利用し、3万円を上限として、住民の交流を促進する活動を助成しています。部落内での活動だけではなく、地域のサークル活動でも助成が受けられます。

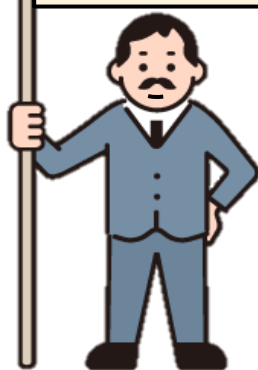
近年、助成を希望する団体が増えてきていることもあり、各地域担当職員が活動の目的や内容を具体的にお聞きし、必要な助成金額の調整をお願いする場合があります。お気軽に相談ください。

地域を盛り上げる
集まりをしたい！



元気になる
活動をしたい

飽きない、眠たくならない 法律のお話し ～法律講演会～



6月6日（日）に開催された法律講演会は「来場者参加型」で少し難しそうな法律のお話を、楽しく理解してもらおうと工夫した講演会でした。

弁護士と社協職員が「にわか劇団員」となり、日常生活で起こりそうな身近な法律問題を寸劇で演じ、来場者に○×クイズを出題。弁護士が法的な解釈・対応を解説、という流れで、たどたどしい演技に笑いも起こる中、やわらかな雰囲気が進みました。



熱演？の弁護士（中央、右）



正解は？…「×」

須崎管内には3名の弁護士がいらっしゃいますが、この日は3名とも来ていただき、参加された皆さんは、日ごろは堅いイメージのある弁護士を身近に感じられたのではないかと思います。

参加された方からは、「とてもいい講演会だった。○×クイズで参加することで眠くもならず、内容は濃かったが、飽きずに、わかりやすく勉強になった」と好評でした。

この講演会の3週間後には無料法律相談会を開催し、予定の相談枠全てに申込みいただき、法律専門家への相談機会確保の目的に沿って事業を進めています。

この事業は、町内の皆様の善意の募金「赤い羽根共同募金」の配分金を活用して行っています。今後の無料法律相談会は **11月21日（日）、令和4年1月30日（日）** に実施予定です。 担当：樋口

福祉サービスで悩んだり、困ったりしていることはありませんか？

各種社会福祉施設（老人ホームや就労継続支援事業所、保育所等）やホームヘルプサービスといった福祉サービス利用においての疑問や悩み等の困りごとは、その事業者との話し合いで解決が望めます。

しかし、話し合いだけでは解決しなかったり、直接話すことに少し抵抗を感じたりする場合もあると思います。そのような時には「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。秘密厳守で対応させていただきます。

相談は無料で、受付は年末年始を除いた平日の午前9時から午後4時までです。



〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1

高知県立ふくし交流プラザ

高知県運営適正化委員会（福祉サービス困りごと解決委員会）

TEL：088-802-2611 FAX：088-844-9443

E-MAIL：kaiketsu@pippikochi.or.jp (FAX・メールは24時間受付)



にこにこ喫茶



梶原町老人クラブ連合会 女性部では
絵はがきを作るため押し花を準備しています。

近隣の方からもお花を提供していただき、
7月16日に絵はがきと風鈴を作ります。

この日はそのまま本に挟む【しおり】を
作ってみました。

毎週火曜・金曜は
東区集落活動センター
にてコーヒー販売と
百歳体操も行ってい
ます。興味のある方は
ぜひご参加ください。



さあ 防災力を高めよう！ 防災・減災の 情報発信コーナー

地震への備え・・・「命を守りぬく」命を守ることができてこそ備えが役に立つ！

1. 建物の安全性を高める・・・「命を守る」「けがをしない」ための環境づくりが地震対策の第一歩！

※ 阪神・淡路大震災の犠牲者の8割以上が、建物の倒壊や家具の転倒による窒息死・圧死でした。

※ 地震で建物が倒壊すると、中にいる人が怪我したり死んでしまうだけでなく、「火災が発生しやすい」「道路をふさぎ、救助活動をさまたげる」「避難生活が長期化し、復旧・復興が遅れる」ということにもつながります。

2. 家具類の転倒・落下・移動防止対策・・・「家電製品は宙を飛ぶ」という平常時には想像しがたいことがおこる！

※ 負傷者の負傷原因調査によると、約30～50%が家具類の転倒・落下によるものだったという調査結果がある。

「地震だ！」その時、落ち着いて行動しよう！

発行元：社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会 住所：高知県高岡郡梶原町川西路 2321-1

発行責任者：樋口 益也 電話：0889-65-1235 ホームページ：<https://www.yusuhara-shakyo.jp/>